

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

- 化学品の名称 Natural Mica Powder N-1000D
- 推奨用途及び使用上の制限
 - 推奨用途 化粧品
 - 使用上の制限 データなし
- 製造業者情報
 - 会社名 CQV Co., Ltd.
 - 住所 144, Seongjung-Ro, Jincheon-Eup, Jincheon-Gun, Chungbuk-Do, Korea
 - 緊急時の電話番号 82-43-531-2500
 - 担当部署(担当者) Byung-Ki Choi
 - Fax 82-43-536-0314

2. 危険有害性の要約

- GHS分類
 - 区分外
- ラベル要素
 - 絵表示又はシンボル：該当しない
 - 注意喚起語：該当しない
 - 危険有害性情報：該当しない
 - 注意書き
 - 安全対策：該当しない
 - 応急措置：該当しない
 - 保管：該当しない
 - 廃棄：該当しない
- 危険有害性分類基準に含まれないその他の危険有害性(NFPA)
 - 保健 0
 - 火災 -
 - 反応性 -

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名 (INCI Name)	CAS 番号	EC 番号	濃度又は濃度範囲(%)
Mica (CI 77019)	12001-26-2	310-127-6	100

4. 応急措置

- 目に入った場合
 - 緊急に医師の診断/手当てを受けること。
 - 物質との接触時、直ちに流水で皮膚と目を20分以上洗うこと。
- 皮膚に付着した場合
 - 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 - 汚染された衣服と靴を取り除いて汚染区域を隔離させること。
 - 物質との接触時、直ちに流水で皮膚と目を20分以上洗うこと。
 - 軽度の皮膚接触時、汚染部位の拡散を防止すること。

- **吸入した場合**

- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- 新鮮な空気のある場所に移動すること。
- 呼吸していない場合、人工呼吸を行うこと。
- 呼吸困難な場合は、酸素吸入を行うこと。
- 暖かくし、安静にすること。

- **飲み込んだ場合**

- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

- **応急措置又は医師に対する特別注意事項**

- 医療従事者は、該当物質の情報を知ったうえで保護措置を取ること。

5. 爆発・火災時の措置

- **適切な(不適切な)消火剤**

- この物質に関連する消火時、アルコール泡、炭酸ガスまたは水噴霧を使用すること。
- 窒息消火時、乾燥砂または土を使用すること。

- **特有の危険有害性**

- 非引火性、物質自体は燃えない。

- **消火を行う者の保護**

- 危険地域から出て安全な距離を維持して消火すること。
- 熔融されて運送される可能性がある。
- 消火水の処分のために溝を掘って閉じ込め物質が散らばるのを防ぐこと。
- 危険でなければ、火災区域から容器を移すこと。
- タンク火災時、最大距離から消火したり、無人の消火装置を使用すること。
- タンク火災時、鎮火した後も大量の水で容器を冷やすこと。
- タンク火災時、圧力放出装置から高音が出たり、タンクが変色する場合は、すぐに退くこと。
- タンク火災時、炎に包まれたタンクから退くこと。
- タンク火災時、大規模火災の場合は無人の消火装置を使用し、不可能な場合は退いて放置すること。

6. 漏出時の措置

- **人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- こぼれたものを直ちにふき取り、保護具の項の予防措置に従うこと。
- 全ての発火源を取り除くこと。
- 危険でなければ漏れを止めること。
- 適切な保護衣を着用せず、破損した容器や漏洩物に触らないこと。
- プラスチックシートで覆って拡散を防ぐこと。
- 避けるべき物質及び条件に注意すること。

- **環境に対する注意事項**

- 水路、下水溝、地下室、密閉空間への流入を防ぐこと。

- **封じ込め及び浄化の方法及び器材**

- 不活性物質(例えば、乾燥砂または土)でこぼれたものを吸収し、化学廃棄物容器に入れること。
- 液体を吸収し、汚染された地域を洗剤と水で洗浄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- **安全取扱い注意事項**

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 空容器の内部に残留物が残っている可能性があるため、すべて MSDS/ラベルの予防措置に従うこと。
- 避けるべき物質及び条件に注意すること。
- 工学的管理及び個人保護具を参照して作業すること。

- **安全な保管方法**

- 空のドラム缶は完全に排水し、適切に塞いで、すぐにドラム調節器に戻したり、適切に配置すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- **許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)**

- 韓国規定**

- TWA = 3 mg/m³

- ACGIH 規定**

- TWA = 3 mg/m³

- 生物学的ばく露指標** データなし

- OSHA 規定**

- TWA = 20 mg/m³ (ミネラル塵)

- NIOSH 規定**

- TWA = 3 mg/m³ (呼吸性粉塵)

- EU 規定** データなし

- その他**

- ベルギー: TWA = 3 mg/m³

- ブルガリア: TWA = 3 mg/m³

- アイルランド: TWA = 10 mg/m³ (総吸入性粉塵), 0.8 mg/m³ (呼吸性粉塵)

- イタリア: TWA = 3 mg/m³ (呼吸性粉塵)

- オーストラリア: TWA = 2.5 mg/m³ (吸入性)

- カナダ: TWA = 3 mg/m³ (呼吸性)

- 中国: TWA = 2 mg/m³ (総粉塵), 1.5 mg/m³ (呼吸性粉塵), STEL = 4 mg/m³ (総粉塵), 3 mg/m³ (呼吸性粉塵)

- ロシア: TWA = 4 mg/m³ (≤10% free Silicon dioxide, エアロゾル), STEL = 6 mg/m³ (10-70% Silicon dioxide 粉塵, 総エアロゾル)

- 台湾: TWA = 3 mg/m³, STEL = 6 mg/m³

- **設備対策**

- 工程隔離、局所排気を使用したり、空中浮遊物質濃度をばく露限度以下に調節する他の工学的管理をすること。

- **保護具**

- 呼吸器の保護具**

- 該当物質のばく露濃度がばく露許容限度を超えた場合、ばく露される粒子状物質の物理化学的特性に応じた呼吸用保護具を着用すること。
- 該当物質のばく露濃度が VALUE より低い場合、保護度が 10 以上であり、ばく露される粒子状物質の物理化学的特性を考慮した適切な顔面部濾過式防塵マスク (facepiece filtering respirator) あるいはフィルター装着防塵マスク (respirator equipped with filter) を着用すること。
- 該当物質のばく露濃度が VALUE より低い場合、保護度が 25 以上であり、ばく露される粒子状物質の物理化学的特性を考慮した適切なフィルターを装着した非密着型フード/ヘルメット型電動式呼吸保護具 (powered air-purifying respirator with a

loose-fitting hood or helmet) あるいは連続流式防塵マスク (continuous flow respirator) を着用すること。

- 該当物質のばく露濃度が VALUE より低い場合、保護度が 50 以上であり、ばく露される粒子状物質の物理化学的特性を考慮した適切なフィルターを装着した全面形/半面形電動式防塵マスク (powered air-purifying respirator with half or full facepiece)、連続流式/プレッシャデマンド式送気マスク (continuous flow/pressure-demand supplied-air respirator) を着用すること。
- 該当物質のばく露濃度が VALUE より低い場合、保護度が 1000 以上であり、ばく露される粒子状物質の物理化学的特性を考慮した適切なフィルターを装着した電動式全面形防塵マスク (powered air-purifying respirator with full facepiece) または全面形/フードタイプ送気マスク (supplied-air respirator with type of full facepiece or hood) を着用すること。
- 該当物質のばく露濃度が VALUE より低い場合、保護度が 10,000 以上のプレッシャデマンド式全面形/ヘルメット/フードタイプ送気マスク (pressure-demand supplied-air respirator with type of full facepiece/helmet/hood) を着用すること。

眼の保護具

- 目に刺激を引き起こしたりその他の健康上の障害を引き起こす可能性がある粒子状物質から目を保護するために通気性のゴーグルを着用すること。
- 作業場から近いところに、洗眼器と安全シャワーを設置すること。

手の保護具

- 化学物質の物理化学的特性を考慮して適切な材質の保護手袋を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

- 化学物質の物理化学的特性を考慮して適切な材質の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

• 物理的状態

形状 粉末

色 白色

- 臭い においなし
- 臭気閾値 データなし
- pH 5.5 - 7.5
- 融点・凝固点 データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし
- 引火点 データなし
- 蒸発速度 データなし
- 燃焼性 (固体、ガス) データなし
- 爆発範囲 データなし
- 蒸気圧 データなし
- 溶解度 データなし
- 蒸気密度 データなし
- 比重 (密度) 2.6 - 3.2 g/cm³
- オクタノール・水分配係数 データなし
- 自然発火温度 データなし
- 分解温度 データなし
- 粘度 データなし
- 分子量 データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性及び危険有害反応可能性:

- 非引火性、物質自体は燃えない。
- 避けるべき条件:
 - 熱、火花、火炎などの発火源
- 混触危険物質:
 - 可燃性物質、還元性物質
- 危険有害な分解生成物:
 - データなし

11. 有害性情報

• 健康有害性情報

急性毒性

経口：データなし

経皮：データなし

吸入：データなし

皮膚腐食性・刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性：データなし

呼吸器感作性：データなし

皮膚感作性：データなし

発がん性：区分外 生殖細胞変異原性：データなし

マクロファージにの類似細胞(P388 D1)を用いた試験で、カオリンと雲母($r=0.58$)は、低級ではなく高級石炭粉じんから細胞毒性と関連して重大な陽性を現わした。

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分外

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

• 生態毒性

- 急性水生毒性：データなし

- 慢性水生毒性：データなし

魚類：データなし

甲殻類：データなし

藻類：データなし

• 残留性及び分解性

残留性：データなし

分解性：データなし

• 生体蓄積性

蓄積性：データなし

生分解性：データなし

• 土壌中の有害性：データなし

• その他の有害影響（オゾン層への有害性など）：データなし

• オゾン層への有害性：該当しない

13. 廃棄上の注意

• 残余廃棄物、汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

- 廃棄上の注意事項

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 該当しない
- 品名 該当しない
- 国連危険物分類 該当しない
- 容器等級 該当しない
- 海洋汚染物質 該当しない
- IMDG/IATA/ICAO 該当しない
- 輸送の特定の安全対策及び条件
 - 火災の時、非常措置 該当しない
 - 漏出の時、非常措置 該当しない

15. 適用法令

- 韓国産業安全保健法(ISHL)
 - Mica : Occupational exposure limits listed
 - Mica : Work environment monitoring listed
- 韓国化学物質管理法(CCA)
 - Mica : Existing Chemical Substance (KE-25420)
- 韓国危険物安全管理法 : 規制されていない
- 韓国廃棄物管理法
 - Mica : Wastes Control Act Controlled Wastes
- その他の規制
 - 韓国の規制
 - 韓国残留性有機汚染物質管理法 : 規制されていない
 - 韓国外の規制
 - EU 分類情報(分類結果)
 - Mica : Not classified
 - EU 分類情報(Risk-phrases)
 - Mica : Not applicable
 - EU 分類情報(Safety-phrases)
 - Mica : Not applicable
 - EU 規制情報(EU SVHC list) : 規制されていない
 - EU 規制情報(EU Authorisation List) : 規制されていない
 - EU 規制情報(EU Restriction list) : 規制されていない
 - 米国管理情報(OSHA 規定) : 規制されていない
 - 米国管理情報(CERCLA 規定) : 規制されていない
 - 米国管理情報(EPCRA 302 規定) : 規制されていない
 - 米国管理情報(EPCRA 304 規定) : 規制されていない
 - 米国管理情報(EPCRA 313 規定) : 規制されていない
 - ロッテルダム協約物質 : 規制されていない
 - ストックホルム協約物質 : 規制されていない
 - モントリオール議定書物質 : 規制されていない
- その他の海外規制一覧
 - Mica
 - 中国管理情報 Inventory of Existing Chemical Substances (IECSC): 存在
 - カナダ管理情報 Domestic Substances List (DSL): 存在
 - オーストラリア管理情報 Inventory of Chemical Substances (AICS): 存在

ニュージーランド管理情報 Inventory of Chemicals (NZIoC):
適切な化学物質群の基準に基づいて単一成分として使用することができる。
フィリピン管理情報 Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS):
存在

16. その他の情報

• 参考文献

Waste Control Act enforcement regulation attached [1]
U.S. National library of Medicine(NLM) Hazardous Substances Data Bank(HSDB);
<http://toxnet.nlm.nih.gov/cgi-bin/sis/htmlgen?HSDB>
Korea Occupational Health & Safety Agency; <http://www.kosha.net>
NIOSH Pocket Guide; <http://www.cdc.gov/niosh/npg/npgdcas.html>
American Conference of Governmental Industrial Hygienists TLVs and BEIs.
IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risks to Humans;
<http://monographs.iarc.fr>
TOMES-LOLI[®]; <http://www.rightanswerknowledge.com/loginRA.asp>
National Toxicology Program; <http://ntp.niehs.nih.gov/results/dbsearch/>
EU CLP; <https://echa.europa.eu/information-on-chemicals/cl-inventory-database>
National Chemicals Information System; <http://ncis.nier.go.kr/ncis/>

• 最初作成日 2013-10-07

• 改訂番号及び最終改訂日

改訂番号 6

最終改訂日 2024-04-01

• その他

- この SDS は、現在の知識と情報をもとに知っている最新のデータに基づいて作成しました。
- この SDS は、バイヤー、取扱者または第3者の安全取り扱いを助けるために作成されたので、特殊な目的の適合性や他の物質と併用して使用する商業的な適用や表現については、いかなる保証もできないし、どのような技術的・法的責任も負いませんに注意してください。
- この SDS の内容は、国及び地域によって異なる可能性があり、実際の関連規定の内容と一致しない場合がありますので、バイヤーと取扱者は、政府及び地域の関連規定を確認して遵守する責任があります。